

洗淨・すすぎ行程における繊維に対する石けんの付着挙動について
ライオン家庭科学研究所 ○小木伸子 宮井真子 田中丈三 戸張真臣
永山升三

目的 粉石けんの効果的な使用方法を明確化することを目的とし、洗淨・すすぎ時における石けんの綿・ポリエステルへの付着挙動について検討した。

方法 綿（金中）・ポリエステル（タフタ）をそれぞれ単独及び共存（負荷比 綿：ポリエステル＝7：3）下で、洗淨・すすぎを行った場合の石けん付着量を求めた。

- 結果
1. 石けんの付着量は、綿の場合単独系と共存系では、ほぼ同等であるが、ポリエステルでは共存系の方が単独系に比べ多くなる。
 2. 硬度が高くなると綿・ポリエステルへの石けん付着量は増大し、ポリエステルへの石けん付着量は綿に比べ多くなる。
 3. 石けん付着量は、単独系・共存系ともに洗淨時が最も多く、すすぎにより減少する。ただし、3°DHでの共存系におけるポリエステルへの石けん付着量はすすぎ行程で増加する傾向にある。
 4. 石けん洗淨処理綿布に綿・ポリエステル布を添付してすすぎを行うと、添付布への石けん付着量は綿に比べポリエステルで多くなる。